「ＣＡＴＹ」の名前は、「ＣＡｍｐｕｓ」と「ｃｉＴＹ」からの造語で、地域と大学の相互理解、交流促進を目的として生まれました。「地域との共生　社会に学ぶ」を合いことばに、高等教育機関としての教育研究の成果を、地域に発信します。また学生が取材活動を通じて、読む・書く・話すといった能力を開発していくことも意図しています。

http://www.kokugakuin-jc.ac.jp

News CATY（ニュース　キャティ）

２０１８年４月　第121号

発行／國學院大學
北海道短期大学部
滝川市文京町３－１－１
TEL0125-23-4111　FAX0125-23-5590
編集長／矢口　元晴

徳性を涵養して、以って人生の本分を盡す

國學院大學北海道短期大学部　学長　田村　弘

当たり前のことを実行する

挨拶を徹底して指導した結果、成績が飛躍的に伸びた高校があり、笑顔と挨拶を徹底した商店が地域の一番店になったとの話も聞きます。

体調のすぐれない日もあるし、虫の居所の悪い時もある。どんな時にでも明るく挨拶するのは、簡単なようでいてなかなか難しい。

礼儀を徹底できる人物、礼儀を徹底できる組織は、何事も徹底できる習慣が身につくのでしょう。

茶道にこんな逸話があります。茶道の大成者千利休が、「茶の湯の心得、極意を承りたい」と問われて、「夏は涼しいように、冬は暖かいように、炭は湯の沸くように、茶は服加減の佳いように、これで秘事は全てです」と答えました。

「それは、誰にでもわかっている当然のことです」

と不服そうに語る弟子に対して、利休はこう語ります。

「そのことが出来るなら、私はあなたの弟子になりましょう」

あたり前のことだと頭では考えていても、いざ、実行するとなると難しいものです。平凡なことを実行するには、非凡な努力が必要です。

三種の神器と日本人の徳性

國學院大學の建学の精神は、「告諭」に示されています。その告諭に曰く、「徳性ヲ涵養シテ以ッテ人生ノ本分ヲ盡（ツク）ス」。

皇太子さまが来年五月一日に即位なさり、三種の神器などを承継する「剣璽等承継の儀」が行われます。古事記、日本書紀によると、アマテラスは孫であるニニギノミコトに「三種の神器と稲穂」を渡して地上を統治するように告げます。

三種の神器、八咫鏡（やたのかがみ）は「公明正大な誠」を、八尺瓊勾玉（やさかにのまがたま）は「慈悲」を、草薙の剣は「正義、勇気、知恵」をあらわすと解釈されています。道徳の基本となるものでしょう。

徳性を磨くために

ソクラテスは、人生で最も大切な「魂」を高めるためには「徳」を身に付ける必要がある。そのためには、正しい知識と知恵を持つこと、「徳は知なり」と要約しました。

「仁」は、孔子の思想の根本にある人間の内面の心の在り方のことですが、その人物の礼儀や社会規範として現れてくると、「仁」の大切さを説きました。

国学の大成者、本居宣長は、「言葉と行いと心情は、相互に一致・類似しているものである」と国学の入門書『うひ山ぶみ』に書いています。考古学・民俗学の最高権威者の一人であった國學院大學名誉教授・故樋口清之博士は、「深い知恵が道徳であり、道徳が形として現れてくるものが礼儀作法である」と示しました。古今東西、「徳性」を高めることは普遍的な人間社会の原則です。しかも、己の行いが、その人物の内面を示す尺度となるとすると、うかうかできません。

人間力を磨くために正しい知識と深い知恵を身につけ、そのことによって涵養される徳性からにじみ出る振舞いを大切にしたいものです。

平成30年度入学式
全国から247人

平成30年度入学式（第37回）が4月10日、国文学科95名、総合教養学科92名、幼児・児童教育学科57名（幼児保育コース29名、児童教育コース28名）の本科生244名、専攻科福祉専攻3名、合わせて247名の新入生を迎えて行われた。

田村弘学長は式辞で新入生に対し「特性を涵養して、以って人生の本分を尽くす」よう新たなスタートにたった新入生にエールを送った。

新入生を代表して幼児・児童教育学科の中島未貴さん（滝川西高校卒）が「小学校教諭になれるよう勉学に励み、充実した学生生活を送りたい」と宣誓した。

なお、本科生244名の男女別は男132名（54・1％）女112名（45・9％）、道内出身87名（35・7％）道外出身157名（64・3％）で、最遠地は沖縄県であった。

―新入生たちの抱負と期待―

滝川での新たな生活楽しみ

滝川市に来てまだ日は浅いですが、いろいろなことを自分自身で決める機会が多くなりました。どの曜日にどの授業を受講するのか。今まで親に頼っていたことを自分で判断しなければなりません。そのことに不安を感じる時もあります。しかし、楽しみという感情の方が大きいです。自分に責任が増える分、やりがいを感じられるからです。

私の原動力は目標です。昔から頑固だといわれます。ですが、私はそこが長所だと思っています。今までやると決めれば最後までやり遂げてきました。これからも、目標に達成するまで諦めない気持ちを強く持ち続けます。そして目標である図書館司書になることを実現させます。

いつもそばにいてくれた地元の家族や友人がいないことで辛い時期があるかもしれません。そんな時は新しい環境で共に頑張る仲間と乗り越えていきます。また、サークル活動や学校行事への挑戦は、自信やや糧になると思うので、積極的に参加しようと思っています。

地域の方々や國短の友人、教職員、学校に通わせてくれた両親に感謝し、国短での2年間を充実させたものにしていきます。（国文学科1年／小笠原楓）

自分の目標に向け色々挑戦

たくさんの期待を胸に、國學院大學北海道短期大学部に入学してから3週間ほどが経ちました。滝川での生活は驚きや感動の連続で、明け方の空に白鳥が飛んでいたり、星がよく見えたり、道端に当たり前のようにふきのとうが生えていたり。東京では見ることや感じることができなかった様々なことを目の当たりにしています。自然にも郷土にも恵まれた滝川での生活は、教師を目指している児童教育コースの私たちにとって、将来に繋がる濃く充実した素晴らしい2年間に必ずなると思います。

私は大学受験が思うようにいかず、小学校教諭になる夢を一度諦めました。しかし、どうしても教師になる夢を捨てきれず、ここでならもう一度目指すことができると知り、この短大に通う道を選びました。通う前は知らない土地で2年間生活することの不安、一人暮らしの怖さ、自分で選んだ道とはいえ本当にここで良かったのだろうかと悩んでいました。しかし、同じ夢に向かって頑張っている友達ができ、授業も楽しくたくさん笑い、本当に毎日が充実していて、この短大に来たことは私にとって必要な道だったのだなやっと思えるようになりました。

将来教師になった時、北海道で経験した多くのことを生徒に伝えられるよう、様々なことに挑戦し、吸収し、学んで、ここにきて本当に良かったと心から思えるような学生生活にしたいです。そして、東京では経験できないたくさんのことに挑戦し、人として何倍も大きく成長したいと思っています。（幼児・児童教育学科児童教育コース1年／黒尾さゆみ）

滝川ならではの経験を意識

私が北海道の滝川市に初めて来たのは、國學院大學北海道短期大学部に入学することになり、アパートの物件探しのために来た3月末でした。滝川の第一印象は、「想像以上に北海道は凄い！雪が積もりすぎていて道路が迷路みたい」ということでしたが、なぜか、私の心は高鳴る状態となっていました。

このような思いの中、雪玉をつくって遊びながら市内のあちらこちらを散策しました。しかし、実際、住んでみるとなると、私がこれまで経験したことのないようなことを体験することになりました。

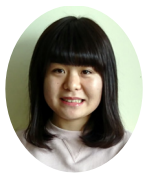
その一つは大量の雪による雪解け水が至る所で流れており、地面がぬかるんだ状態であったため、泥水がはねて服につかないように歩くのに結構気を遣ったことでした。今ではもう慣れましたけど…。

もう一つは、一人暮らしとなったことにより、これまで親がしてくれていたことをすべて自分でするということでした。市役所への転入届、光熱費の手続き、料理、洗濯、掃除、日用品等の買い物、ごみ出しなどほぼ全てが初体験でしたので、新鮮味こそありましたが自己管理・自己負担・自己責任において行うということの大変さを感じたことでした。

このような思いをしながら毎日生活をしているのですが、これらのことは滝川にいる学生時代にこそできることとプラス思考で考えるようにすると、今はなぜか得をした気分になってきています。

私は卒業までの2年間で「滝川でしかできないこと、滝川だからできること、滝川でやらざるを得ないこと」を常に意識しながら、私の目標である「國學院大學への編入学」を目指し、しっかりと学修に励み充実した学生生活となるよう努力していきたいと考えています。

目標しっかり持ち保育士に



國學院大學北海道短期大学部に入学して、3週間が経ちました。

私のこれからの抱負は、「今出来ることは後回しにせず、その日のうちにやる」ことです。これには、学業と生活、どちらにも言えることだと思うので、この思いを忘れずに日々過ごしていきたいと考えています。

私は、将来保育士または幼稚園教諭になりたいと考えています。この短大の2年間という短い期間では、毎日やらなければならないことがたくさんあります。まず、ピアノです。私はピアノが未経験なので、人一倍努力しなければなりません。先生には、「5分でも10分でもいいから、とにかく毎日ピアノに触れること」と言われました。また、レポートを書くこともあまり得意ではないので、毎日テレビのニュースを見て、世の中の出来事に触れることも大事だと思います。このように、毎日たくさんやることがあるので、そのような時にも、自分で優先順位をつけて、できるだけ次の日に持ち越さないようにしたいです。

生活面では、忙しくても食事と睡眠はしっかりとることを大事にしたいです。また健康管理ができていないと、授業を休むことになってしまうので、自己管理を徹底していきたいです。

私は網走から滝川へ引っ越して、初めての一人暮らしをしています。今まで当たり前のように親にやってもらっていた洗濯や掃除、食事の用意などを自分で行ってみると、失敗したり、とても時間がかかってしまって、こういう時に、親の偉大さがとてもよくわかりました。親には学費やアパート代、生活費など、たくさんのお金を出してもらっています。それを当然のこととは思わず、送り出してもらっていることに感謝しながら、日々生活していきたいです。

最終的に私が目指すものは、保護者に安心して子どもを預けてもらえるような保育士です。大切なことは、笑顔や元気なあいさつ、日頃からたくさんの人達と関わりを持つことだと思います。以上のことを大切にして、学校生活一日一日を大切に過ごしていきたいです。（幼児・児童教育学科幼児保育コース1年／遊佐万梨奈）

資格取得に向け努力する

先月、私は幼児・児童教育学科での2年間を無事に終え、保育士資格と幼稚園教諭二種免許を取得することができました。今度は、専攻科福祉専攻で介護福祉士を目指す1年が始まります。

専攻科では介護の制度や用語、考え方、支援の方法等のたくさんの専門知識や技術を1年という短い時間の中で学ぶことになるため、毎日授業がびっしりと入っています。

授業が始まって2週間程経ち、私が感じたのは毎日の学習がより大切になってくるということです。今までは講義に空きがあったため時間に余裕があり、復習等をつい後回しにしてしまうことがありましたが、専攻科では心を切り替え、毎日の授業や予習・復習を大切にして確実に知識や技術を身につけるよう努力していきたいです。

また、今年の専攻科は自分を含めて3名ととても少ない人数で学んでいくことになるため、それぞれが役割を持ち、主体的に動いていくことが今まで以上に求められます。自分の役割とは何か、どのように動くべきなのかを常に考え、お互いに助け合いながら過ごしていきます。

これから、毎日の授業の他にも実習や就職活動、1月には介護福祉士資格の国家試験を控え、とても忙しい日々が待っています。介護福祉士の資格取得や就職はもちろん、仲間や先生方等周りの人々からもたくさんの発見や学びをして、人として大きく成長することを自分の目標として頑張っていきたいと思います。（専攻科福祉専攻／梅津里穂）

新任教員紹介

はじめまして。今年度より國學院大學北海道短期大学部に勤務することになりました、菅原健太と申します。國學院大學出身というわけではありませんが、大学院時代の先輩が以前こちらに勤務されていたということもあり、不思議な縁を感じております。

これまでは他の短期大学で通信課程の教員をしながら、北海道内の大学や専門学校で講師をしておりました。教育学や社会学など、（頼まれるがままに）さまざまな科目を担当させていただき、さまざまな進路希望や興味関心をもった学生と関わってきました。このような経験をもとに前途ある本学学生と関わらせていただくことは、大変光栄なことであり、同時に私自身もまた、さまざまなことを学生から教わる立場になるであろう喜びを感じております。

私の専門分野は教育学。特に、若者における自己意識や進路意識の形成についての研究が中心です。ひと時の流行に比べれば、安易な若者バッシングは減ったようにも見えますが、それでもいまだに燻っているのも事実です。これからを生きる若者が抱えるもの、抱えさせられているものを正しく見つめていくことが必要だと考えております。

専門分野は「教育学」
学生の未来見据え指導

本学での教員生活、ならびに滝川での生活は始まったばかりですが、新しい発見や刺激が毎日のように押し寄せてきており、食生活がおろそかになっています。少し落ち着いたら、色々と探索したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。（幼児・児童教育学科助教／菅原健太）

カレーパーティーに参加して
滝川の温かさに触れる

寒さが厳しく、道端にはまだ雪が残るこの北海道滝川市で4月10日、國學院大學北海道短期大学部の入学式が行われました。入学式の間は、友達はできるのか、慣れないこの土地で2年間過ごしていけるのだろうか、自分が目標としている國學院大學へ編入はできるのだろうかなど、様々な不安が頭の中を巡っていました。しかし、このあとに行われた新入生歓迎パーティー（またの名をカレーパーティー）に参加することによって、少しずつ不安が払拭されていきました。

このパーティーは、家主連絡協議会の皆さんが作ってくださった、滝川の食材を使用したカレーを新入生みんなで頂くというものでした。パーティーに参加している間に、友達をつくることができました。お互い今一人暮らしで不安になっている事や編入について、また新天地である北海道という土地で何をしてみたいか、何処に行って見たいかなど、カレーを食べながら和気あいあいと語り合いました。不安に思っている事を口に出す事で解消していったという事に驚きましたが、それよりも友達ができるという事がこんなにも心強い事だったのだという事を初めて知りました。

この様な友達の輪を広げ、親交を深める機会を作ってくださった新入生歓迎パーティーに携わった皆様、またカレーを作ってくださった家主連絡協議会の皆様、本当に有難うございました。カレー本当に美味しかったです。

最後に私をこの大学に送り出してくれた家族に感謝の気持ちを伝えたいです。ただ、有り難うという言葉だけじゃこの気持ちは伝わらないので、大学生活で色んな事を学び、体験して成長した自分を見せたいと考えています。そのためにこの2年間、1日も無駄にせず充実した日々を送って行こうと思っています。（総合教養学科1年／佐藤優宇）

子育てサロン「ありす」

子育て中のお父さん、お母さん、お子さんのための広場です。

お子さんを連れて、気軽に遊びに来て下さい。

対象者　おおむね０～４歳未満の子どもとその家族
参加料　１家庭あたり100円（保険料を含む）
申し込み　開催日の前日15:00まで（先着30人）

開催日　５月17日(木)
テーマ：お花見散歩

平成30年度オープンキャンパス

進学を希望している生徒・保護者の皆さんは、大学ってどんなところ、大学の授業ってどのようなことをするの、時間割はどうなっているの、大学の校舎を見たい等々の疑問を抱いていることと思います。こんな疑問に答えてくれるのがオープンキャンパスです。大学の授業を聞いたり、教授に疑問点を聞いたり、在学生の生の声を聞いたり、普段質問できないようなことを聞いてみてください。お昼には、学生食堂で学生や教員達と触れ合いながら食事をします。

▽第1回　5月26日（土）
▽第2回　6月24日（日）
▽第3回　7月29日（日）
▽第4回　9月29日（土）

平成30年度 國學院大學北海道短期大学部 オープンカレッジ講座のご案内

お問合せ：コミュニティカレッジセンター

1 2 あなたの想いを短歌にA・B
1 全5回・5,000円／5月31日（木）～/13:05～14:35
2 全5回・5,000円／10月4日（木）～/13:05～14:35
国文学科教授、歌人：月岡　道晴

3 書の美への誘い
全10回・10,000円/6月12日（火）～/13:05～14:35
国文学科講師：瀧野　幸三

4 5 絵画の制作A・B
4 全5回・5,000円／6月4日(月)～/11:00～12:30
5 全5回・5,000円/10月15日(月)～/11:00～12:30
幼児・児童教育学科教授：黒阪　陽一

6 大人のためのクラシックピアノ
全10回・17,000円/6月5日（火）～/14:45～16:15
幼児・児童教育学科講師：寺田　有希

7 日商簿記検定2級対策講座
全30回・30,000円/5月15日（火）～/18:00～19:30
総合教養学科准教授：舛井　雄一

8 日商簿記検定3級対策講座
全30回・30,000円/5月14日（月）～/18:00～19:30
総合教養学科准教授：舛井　雄一

9 はじめての中国語
全5回・5,000円/6月5日（火）～/13:05～14:35
国文学科教授：山寺　三知

10【初めての方】神社・神道を知る講座(入門編)
全5回・5,000円/6月4日（月）～/13:05～14:35
国文学科准教授：森　悟朗

11 神社・神道を知る講座(5)
全5回・5,000円/6月4日（月）～/14:45～16:15
国文学科准教授：森　悟朗

12『蝦夷行程記』を読む(2)　國學院古文書教室
全5回・5,000円/6月5日(火)～/14:45～16:15
図書館：高橋　由彦

13 茶道入門編
全10回・10,000円/6月8日（金）～/13:00～15:00
学校茶道部指導者：石山　裕子

14 15 絵と画像で学ぶ『源氏物語』A・B
14 全5回・5,000円/6月5日（火）～/14:45～16:15
15 全5回・5,000円/9月25日（火）～/14:45～16:15
国文学科助教：渡辺　開紀

16 風土と芸術―日本画家・岩橋英遠の世界
全3回・3,000円/10月17日（水）～/13:05～14:35
滝川市美術自然史館　学芸員　河野　敏昭

17 オノディーと滝川の魅力を再発見しよう
全3回・3,000円/5月23日（水）～/13:05～14:35
28日は滝川をバスでフィールドワーク　元滝川高校教諭　小野寺　徹